

原田病院外来診察担当表 (平成27年4月1日~)

●診察時間 午前9時~午後12時 午後4時~午後6時

☆当院では待ち時間短縮のため午前中の診察は予約制となっております☆

□一般内科外来 □糖尿病外来 □泌尿器科外来 □整形外科外来 □慢性腎臓病(CKD)外来 □在宅血液透析(HHD)外来

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午 前 外 来	1診 重本	山下和臣	重本	西澤	山下和臣	重本
	2診 竹内	西澤	水入(腎臓内科)	水入(腎臓内科)	山下秀樹	山下和臣
	3診 藤井(血液内科)	大下	永野	小野	大下	佐々木
	4診 DM 内藤	内藤	内藤	原田	原田	堀江
	5診 整形外科 一	一	一	浅井(内科)	一	整形外科
	6診 初診 藤野	浅井	原田	永野	小野	竹内
	7診 佐々木	藤田(泌尿器科)	藤野	堀江	藤田(泌尿器科)	泌尿器科(広大)
	8診 放射線科	石根、樋口	石根	石根	石根	樋口
午 後 外 来	1診 16:00~ 永野	16:00~ 倉脇	15:00~ 碓井	16:00~ 藤野	16:00~ 倉脇	16:00~ 小笠原
	2診 専門外来(14:30~16:30)(不定期) 呼吸器 濱田	専門外来(14:30~16:00)(第1火曜日) 循環器 木原	16:00~ 18:00 小笠原	専門外来(14:00~16:00) PD 西澤	専門外来(16:00~18:00) 呼吸器 濱田	16:00~ 18:00 堀江
	3診 16:00~ 17:00 小笠原	専門外来(14:20~16:00) CKD 水入	15:00~ 18:00 血液内科 三原	専門外来(14:00~16:00) CKD 水入	専門外来(14:30~16:00) CKD 西澤	—
	4診 専門外来(14:00~15:00) 禁煙外来 内藤	16:00~ 17:00 小野	専門外来(16:30~18:00) HHD 西澤	—	—	—
	5診 専門外来(13:00~16:00) フットケア 原田	—	16:00~ 18:00 佐々木	—	専門外来(16:00~18:00) 循環器 竹内	—
	7診 —	—	—	専門外来(14:00~15:00) 特定健診 堀江	—	—

※手術・救急・学会などにより担当医が予告なく変更になることがあります。

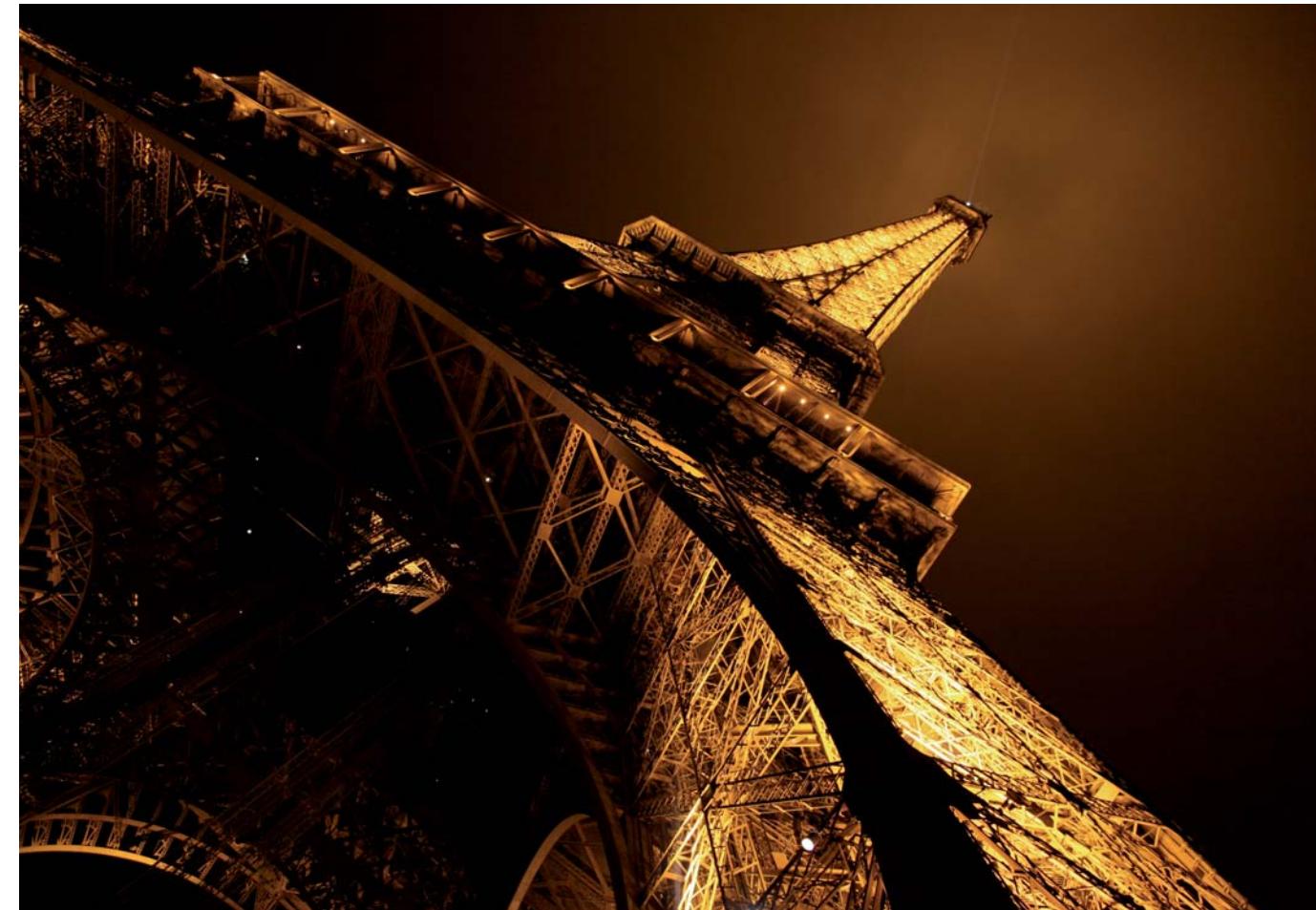
一陽会

原田病院 院長 重本 憲一郎
〒731-5134 広島市佐伯区海老山町7番10号 TEL 082-923-5161 FAX 082-921-8035
一陽会クリニック 院長 碓井 公治
〒731-5133 広島市佐伯区旭園10番3号 TEL 082-924-0033 FAX 082-924-0037
イーストクリニック 院長 有田 美智子
〒732-0814 広島市南区段原南1丁目3番53号 広島イーストビル6F TEL 082-506-0123 FAX 082-567-7115
横川クリニック 院長 藤田 潔
〒733-0011 広島市西区横川町2丁目7番19号 横川メディカルプラザ3F TEL 082-231-0111 FAX 082-231-0155
クローバー訪問看護ステーション 所長 大泉 淳 クローバー居宅介護支援事業所 所長 平田 恵美
〒731-5133 広島市佐伯区旭園5番58号 TEL 082-925-6222(訪問看護) 082-925-6221(居宅介護) FAX 082-925-6223(共通)
ケアレジデンス樂々園 施設長 大賀戸美代子 デイサービス樂々園 所長 西 幸子 クローバーヘルパーステーション 所長 甲斐 憲一郎
〒731-5136 広島市佐伯区樂々園3丁目14番3号 TEL 082-943-8686(ケアレジデンス樂々園) 082-943-8585(デイサービス樂々園) 082-943-7088(ヘルパーステーション) FAX 082-943-8588(共通)

あさひメディコ

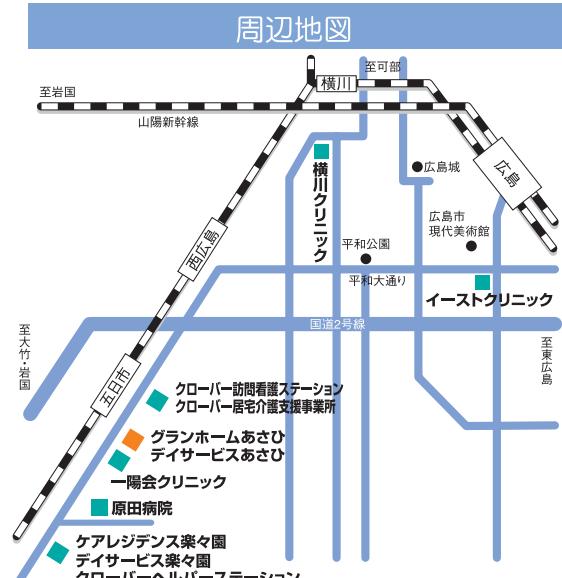
グランホームあさひ 施設長 日高 直美 デイサービスあさひ 所長 畑 千恵
〒731-5133 広島市佐伯区旭園9番31号 TEL 082-943-7773(グランホーム) 082-943-8610(デイサービス) FAX 082-943-8600(共通)

発行 一陽会広報委員会

〒731-5134 広島市佐伯区海老山町7番10号
TEL 082-923-5161(代) FAX 082-921-8035
ホームページ <http://www.icy.or.jp> E-mail [\(一陽会 広報室\)](mailto:info@icy.or.jp)
ご意見ご質問があれば上記の一陽会広報室までご一報ください。あさひ
一陽会広報誌平成27年
春号
vol.46

題名 「エッフェル塔」

撮影：地域連携室 梶浦拓也



あとがき

原田病院の裏手に桜の名所として有名な海老山公園があります。今年は残念ながら天候不順のため一週間程度で桜は散ってしまいましたが、続いてタケノコがニヨキニヨキ生えはじめました。◆「日本三大有用竹」と言わる孟宗竹、真竹、淡竹(はちく)の3種の竹が日本では重宝されています。関東で売られているタケノコは、ほとんどが孟宗竹で、太く柔らかく香りも良いそうです。真竹は日本に古くからある竹で、ややアカが強く苦味もありますが独特の味があり、淡竹は少し硬めですがアカが少なく味も淡白で、いろんな味付けができる大変おいしいそうです。海老山に生える竹はおそらくこの淡竹と思われます。◆タケノコは漢字で「筍」竹かんむりに「筍(しゅん)」と書きます。タケノコの成長は猛烈に早く、1日に1m以上伸びることもあるため、タケノコと呼べる時期はわずかしかありません。さらに穂先が地上に出て陽にさらされた瞬間に独特の“えぐ味”がどんどん強くなってしまうため、本当においしい時期はまさに一瞬だけで、穂先を出す前のタケノコは柔らかく、えぐ味のまったくない、まさに“筍”的味だそうです。◆一陽会・あさひメディコでは今年73名の新人が入職しました。全員そろって、海老山に生えている竹の如く、淡竹(破竹)の勢いで成長していただきたいと思います。(N.U.)

一陽会 基本理念

- 1 愛情ある奉仕の心を以って地域医療・介護に貢献する。
- 3 誠心と創意工夫を以ってその職責を全うする。

2 和衷協同して技術の向上と人格の形成に努める。

一陽会職員は、「愛・和・誠」を是訓として、日々の診療にあたっております。

患者さまの権利

- 1 患者は人としての尊厳を維持する権利を有します。
一陽会職員は患者のプライバシーの保護に努め、患者により選択された医療の提供を行います。
- 2 患者は納得できる医療を受ける権利を有します。
一陽会は患者に必要な情報提供と説明を行い、インフォームドコンセント(納得診療)を適切に行います。
- 3 患者は医療機関の選択の自由の権利を有します。
患者にはいかなる治療段階においても他の医師等の意見をもとめる権利(セカンドオピニオン等)があり、一陽会はこれを支援します。

原田病院 基本方針

- 1 地域ニーズに応える地域密着型の病院をめざす。
すなわち、高齢化が進む今日、高齢者の急性期医療を担うという当院の役割を明確にする。その為に、病診・病病連携を密にし、紹介患者の受け入れ、及び回復後の逆紹介を励行する。
- 2 医療、介護、福祉の関連機関と協力して、在宅医療を支援・推進する。
また医療の質を高めることにより早期社会復帰、平均在院日数の短縮をはかり、急性期病院を維持する。
- 3 腎疾患、糖尿病、透析を中心とした急性期医療を提供する。
特に透析医療では、当地区において中心的役割を果たすよう努力する。
- 4 患者中心の医療を目指す。
すなわち患者の権利、尊厳、利益、希望を尊重した医療を実現するため、相談窓口、検討機関を広く設け、積極的に実施する。

トピック

絵画を寄贈いただきました。

広島を代表する画家 片田天玲氏 の弟子で、“玲苑”の雅号を授かった画家、重本富子さまから、自作の絵画29点を寄贈いただきました。



絵画は現在、一陽会各施設に展示しておりますが、そのうち21点をケアレジデンス楽々園に展示しております。施設見学の際、併せてご鑑賞ください。



糖尿病専門外来開設(イーストクリニック)

イーストクリニックでは3月28日より、元広島大学病院内分泌・糖尿病内科診療教授、山根公則医師による“糖尿病専門外来”を開設いたしました。

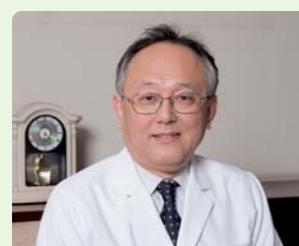
診察時間:毎週土曜日 9時~12時30分

一般・腎臓内科外来、腎臓内科専門外来とあわせて、今後ともよろしくお願ひいたします。

診察は全て予約制となっております。

事前にお問い合わせ下さい。

TEL.082-506-0123 イーストクリニック



Profile

山根公則

糖尿病内科医師

広島大学 医学部(S59年卒)
医学博士(H8年)

前広島大学病院内分泌・糖尿病内科診療教授
日本内科学会認定内科医・総合内科専門医
日本糖尿病学会専門医・指導医
日本内分泌学会専門医・指導医
日本医師会認定産業医



黄内科医院 (佐伯区藤の木)

「傾聴と丁寧な説明をモットーにしています」今回は佐伯区藤の木にあります「黄内科医院」のご紹介です。

平成4年12月に内科開業し、今年で23年になりました。医院は、土足バリアフリーにしており、また車で来られる患者さんが多いため駐車場を広くとっています。

診療については患者さんが何を求めているかを傾聴して見極めることです。病気の説明を丁寧にすること、自分の能力と守備範囲をしっかり認識して正しく判断して適切な治療を心掛けています。

原田病院には紹介した患者さんへの対応が早く、返事も詳しく、連携している患者さんの情報もしっかりと頂いており、助かっております。

黄内科医院
院長 秦 英博



- 所 在 地 〒731-5103 広島市佐伯区藤の木1丁目31-12
TEL.082-927-2020 FAX.082-927-6767
- 診 療 科 目 内科・呼吸器・循環器科・消化器科・リハビリ科・アレルギー科
- 診 療 時 間 午前 9:00~12:30 午後 15:00~18:00
- 休 診 日 (木曜日・土曜日の午後、日曜日、祝日)
- 駐 車 場 20台

デイサービス楽々園 施設一般開放(無料)のご案内

デイサービス楽々園の施設を、毎月第3日曜日の午前9時から午後5時までの間、一般の方や地域の方へお貸しいたします。

会議や音楽会、展示会やワークショップなど様々な用途をご利用ください。
デイサービス楽々園の施設概要、申し込み方法等の詳細は、一陽会ホームページ「一陽会からのお知らせ」欄をご覧になるか、電話にて直接お問い合わせください。



一陽会からのお知らせ

検索

デイサービス楽々園 TEL.082-943-8585



血液浄化部発足

このたび、看護部・診療技術部・事務部、在宅事業部に加え、新たに血液浄化部が「部」として発足しました。

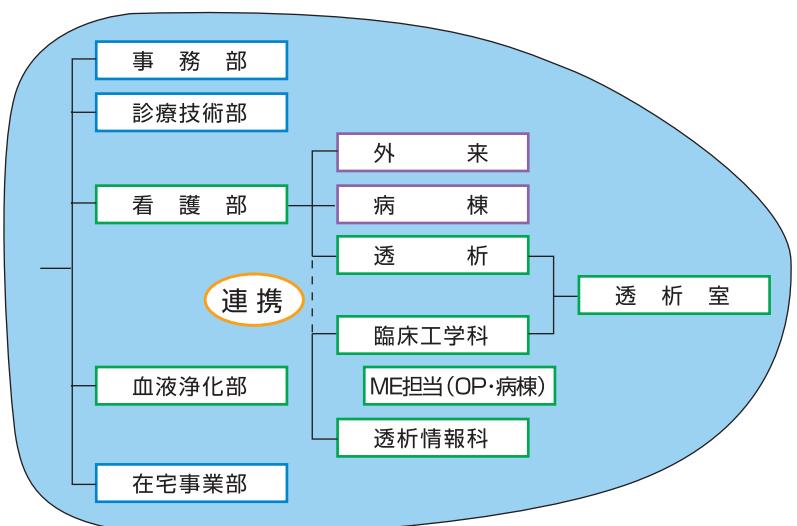


血液浄化部 部長
本丸忠生

【血液浄化部発足】

一陽会は、平成26年5月に40周年を迎え、節目の年に、透析部門「血液浄化部」が10月に発足しました。40年の中では透析看護・透析技術を分けて業務を行った時代もありましたが、平成15年からは看護部が両方の業務を統一して担当していました。

その後10年間、透析技術は急速に発展しました。透析業務の中で特に専門技術を更に伸ばす事が今後重要であると考え臨床工学技士を増員してまいりました。そして昨年度「原田病院」「一陽会クリニック」「イーストクリニック」「横川クリニック」4施設合わせて49名まで達したことから、このたび独立を決定しました。独立しても同一フロアで看護師と共同で透析業務を行なうことには変わりありません。これまで以上に看護部と血液浄化部が協力し、専門性を活かして円滑な透析業務を行なってまいります。



一陽会組織図

【スペシャリストが透析患者700名を支える】

血液浄化部は臨床工学科・透析情報科、2つの柱で構成されています。臨床工学科は透析フロア業務を担当し、ベッドサイド業務や透析装置保守と専門性の高い「スペシャリスト」を目指します。透析情報科は、透析管理運営補助を行うために広範囲な知識・技術・経験が必要な「ジェネラリスト」を目指します。これからの臨床工学技士は「臨床」透析看護と「技術」保守管理と多岐にわたる業務が要求されますが、特に保守管理業務の充実が急がれます。どちらも今後の育成を行い最先端透析医療と安全性の高い透析を700名の透析患者さまにご提供いたします。

【最先端の試み】

一陽会では、最新の機器をいち早く導入する事で透析治療の向上を進め、医療機器メーカーに提案して新しい治療技術や安全性の向上を常時行っています。中でも25年以上手がけている透析業務を支援するための「透析支援システム」を当院にて開発し、全国の透析施設へ送り出しています。その開発は、機械に出来る事は「機械」に、人にしか出来ない事は「人」にをテーマに提案してきました。重複作業・雑用の大幅な削減や記録の電子化を行い、20年前には世界で始めて院内ネットワーク化を行い、情報の共有化、ベッドサイドで採血、その検査結果を透析治療中にベッドサイドへと表示するなど透析治療のサポートに貢献しています。毎年、医療機器メーカーに新しい開発・提案を行い、複雑化する治療を安全・安心な医療にするための「創意・工夫」を忘れず血液浄化部は行ってまいります。

【在宅透析にも対応】

一陽会では、40年間、幅の広い体外循環治療を行なってまいりました。主として血液透析(HD)・在宅腹膜透析(CAPD)、血液浄化として血漿交換や吸着など体外循環治療を専門としています。数年前からは在宅血液透析にも取り組み、施設透析か在宅透析か、患者さまの要望に答えられるよう努めています。在宅透析に関心のある方は、主治医にご相談下さい。

今後とも、よろしくお願ひします。



原田病院透析室



一陽会クリニック透析室



一陽会クリニック第2透析室



イーストクリニック透析室



横川クリニック透析室

透析通信システム Vol.3

一陽会グループ各施設は、透析支援システムを、Webシステムを利用したFuture Net Web+に更新いたしました。

院内システムとの連携

以前は透析システム専用の端末（パソコン）が必要でしたが、Webシステムを利用することで、1台のパソコンで電子カルテ・透析支援システムを操作でき、他の院内システム（検査システム、医事システム等）との連携がより密になり、情報の共有化を図りやすい環境が構築できました。

4施設間連携

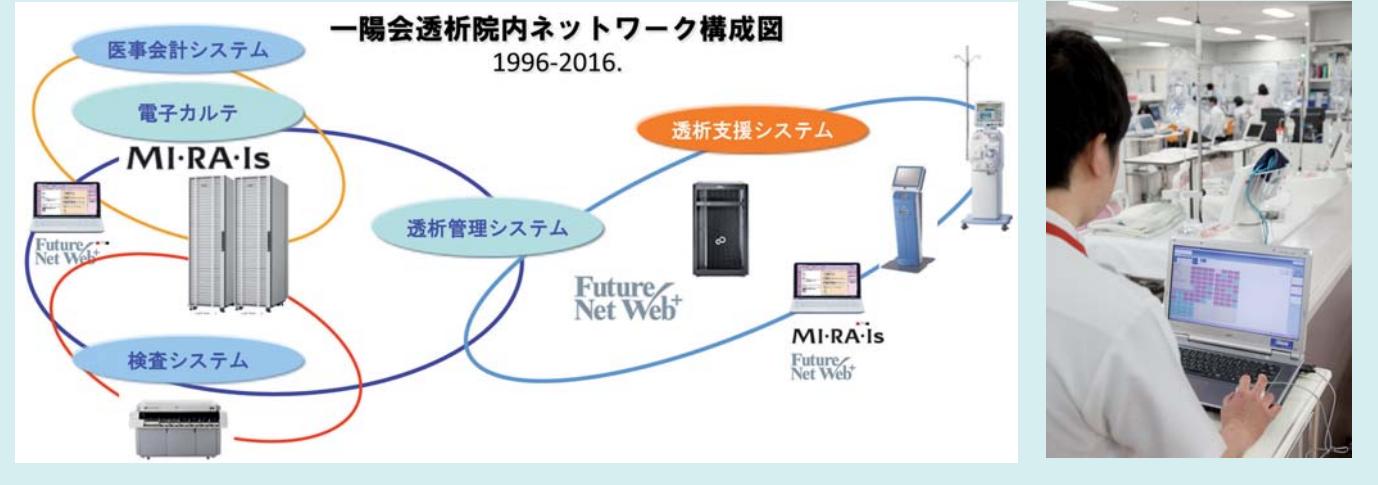
グループ全施設がFuture Net Web+を導入することにより、グループ施設間（原田病院、一陽会クリニック、イーストクリニック、横川クリニック）

の連携が実現、グループ内の患者さまの透析に関する情報の一元管理が可能となりました。

システム導入のメリットである「各種治療データ（検査データ、処置データ等）を総合的に分析し、患者さま一人ひとりに合った最適な治療方針を提供」をよりスピーディーに決定できます。

また、透析治療で使用される各種機器の保守点検や一括管理がスムーズに実施でき、患者さまへより安全な透析治療を提供することができるようになりました。

透析情報科 主任 稲本健司



パンフレット、リニューアル！

一陽会全施設のパンフレットを、同時にリニューアルいたしました。

新しいパンフレットでは、各施設の特色がわかりやすく伝わるように作成してまいりました。各施設に設置しておりますので、ご遠慮なくお持ち帰りください。



一陽会 広報委員会

Column いきいさん

第30回 デイサービス楽々園
所長 西 幸子

利用者さまやスタッフの笑顔に支えられています。

デイサービスあさひで7年間勤務し、その経験を元にデイサービス楽々園の立ち上げから関わらせて頂きました。分からないことばかりで、沢山の方々に助けて頂きました。

今は、デイサービスの利用者さまやご家族の笑顔が一人

でも多くみられるようにスタッフと共に頑張っています。利用者さまが「一日楽しかったよ」と声をかけて下さると本当にうれしく感じます。私自身が辛く、悲しい時でも利用者さまやスタッフの笑顔に支えられ、嫌なことを全て忘れて働くことが出来る職場に勤められて本当にありがとうございます。

これからも在宅事業部の方々の協力を得ながら地域の皆さまが安心して楽しく利用していただけるデイサービスを目指していきたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。



健康レシピ

第3回 魚の揚げ煮

今回のレシピのポイントは減塩です。みなさん、塩分について普段から気にされていますか？ 平成24年国民健康・栄養調査報告では成人の食塩摂取量は男性11.3g、女性9.6gと報告されています。しかし、平成27年版日本人の食事摂取基準では、食塩の摂取目標量は男性8g、女性7gとなっており、塩分は摂り過ぎとなっています。

そこで、塩分が少なくても美味しく食べられる1品として魚の揚げ煮を紹介します。減塩でも美味しく食べられるポイント①油のうまみを利用する。揚げると、その風味で薄味でもおいしく食べることができます。ポイント②味をまわりにからませる。今回は、魚には下味をつけず、まわりに味をからめることで、食べたときに直接塩分を感じやすく、おいしく食べることができます。今回の1品で約0.5gの塩分量となります。

カロリーが気になる方は、揚げるのではなく、200度で15分焼き、フライパンに調味料を煮立たせた中に入れて、衣がはがれないようにそっと味をからませてください。

《材料(1人前)》

白身魚	60g
片栗粉	適量
砂糖	小さじ2/3
みりん	小さじ1/2
しょうゆ	小さじ1/2
酒	小さじ2/5
揚げ油	適量

《作り方》

1. 魚は食べやすい大きさに切っておく
2. 片栗粉を魚にまぶし、油で揚げる
3. 鍋に砂糖、しょうゆ、みりん、酒をあわせておく。量が少なければ、少量の水を加えてもよい
4. 3.を熱し、熱くなったところで、2.で揚げた魚を加え、全体に調味料をからめるように混ぜ合わせる



管理栄養士 室岡 みほ